

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		公民館事務管理事業		担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯学習係	管理番号	6154	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	誰もが生きがいをもち学ぶことのできるまちづくり		根拠法令 個別計画等					
	小項目	1	生涯学習の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		生涯学習スポーツ振興課及び公民館において、公民館費における事業執行を円滑に実施するため、共通的な経費等を計上するものです。なお、この一般事務経費には、・大里地区公民館連合会負担金・埼玉県公民館連絡協議会負担金も計上されている								
目的 ※何のために		公民館運営を円滑に実施するため								
対象 ※誰・何を対象に		公民館運営審議会委員・非常勤館長・臨時職員等や、大里地区公民館連合会・埼玉県公民館連絡協議会								
手段 ※どのように		報酬・賃金や、負担金を支払う								
成果 ※何を求めるか		市内公民館を適正に管理運営できるよう図る。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名	前年度決算額(円)			
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	一般事務経費[生涯学習スポーツ振興課]	5,912,764
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	一般事務経費[深谷公民館]	5,839,217
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	一般事務経費[藤沢公民館]	5,714,854
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	一般事務経費[幡羅公民館]	6,112,230
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	一般事務経費[明戸公民館]	5,726,792
本事業の 主な業務		・夜間・土日祝の受付管理事務委託					・			
		・非常勤館長・副館長の報酬の支払い					・			
		・臨時職員の賃金の支払い					・			
		・公民館運営審議会委員保報酬の支払い					・			
		・埼玉県公民館連絡協議会の負担金支払い					・			
		・大里地区公民館連合会負担金の支払い					・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	99,332,000	84,446,000	85,214,000	82,142,000	85,316,000	90,337,000
	決算額	95,469,979	81,194,629	82,153,712	70,937,391	76,140,549	0
	財源内訳	国支出金	0	0	65,000	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	95,469,979	81,194,629	82,153,712	70,872,391	76,140,549	90,337,000
人件費	従事職員数(人)	0.14	0.14	0.14	0.44	0.38	0.86
	人件費相当試算※	1,089,060	1,089,480	1,100,540	3,579,840	2,949,528	6,992,959
総事業費試算		96,559,039	82,284,109	83,254,252	74,517,231	79,090,077	97,329,959

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
活動指標 1	実績値の算出式									
	公民館運営審議会委員数	目標値	人	0	0	0	0	0	0	
		実績値		173	175	177	176	175	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
活動指標 2	実績値の算出式									
	公民館運営審議会委員報酬額	目標値	千円	0	0	0	0	0	0	
		実績値		1911	1921	1935	1914	1896	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
活動指標 3	実績値の算出式									
	大里地区公民館連合会負担金額	目標値	円	0	58000	58000	58000	58000	58000	58000
		実績値		58000	58000	58000	58000	0	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
成果指標 1	実績値の算出式									
	公運審開催回数	目標値	回	0	24	24	24	24	24	
		実績値		28	28	28	29	28	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
活動指標 4	実績値の算出式									
	埼玉県公民館連絡協議会負担金額	目標値	円	0	63000	63000	63000	63000	63000	63000
		実績値		63000	63000	63000	63000	63000	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	公民館運営審議会委員報酬及び埼玉県公民館連絡協議会負担金について、適正に支出することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	各公民館において、公民館運営審議会を複数回開催したことで、目標値(24回)を上回る結果(28回)となった。
			評価者 生涯学習係長 荻塚 文彦

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	公民館運営審議会委員の委嘱等の事務は各館で行うなど、効率的に事務を行っている。
			評価者 生涯学習係長 荻塚 文彦

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	公民館事務管理事業	担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯学習係	管理番号	6154
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		公民館運営審議会は、公民館長の諮問機関として重要な役割を担っている。委嘱・報酬等の事務は適正に行っている。また、会計年度任用職員については、公民館事務や事業等を考慮し適切に配置しており報酬支払事務も適正に行っている。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	生涯学習スポーツ振興課長 荻塚 洋明				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

